

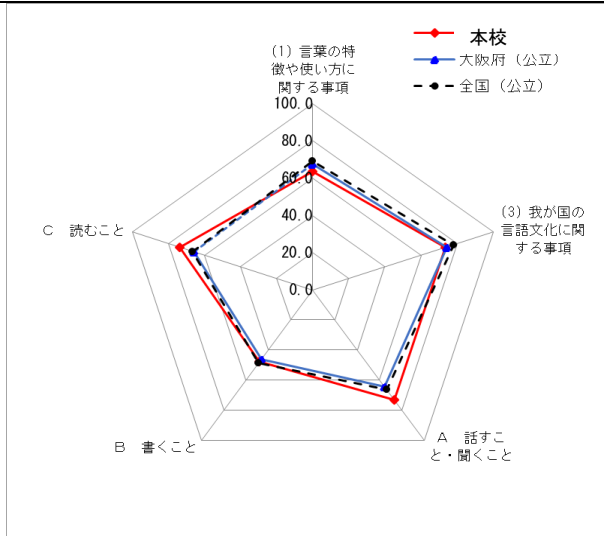
9月チームこうようだい

9月臨時号
富田林市立向陽台小学校
校長 澤口 雅彦

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせいたします。

本調査結果は学力や学習状況の特定の一部分であり学校における教育活動の一側面であり、学校として、以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいります。保護者の皆様には、さらなるご理解・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

【国語】



全体的な状況

- 記述式の問題に関して、力を発揮できている。「話すこと・聞くこと」「読むこと」に関する問題の正答率は全国平均を大きく超えている。

課題

- 漢字の問題に関しては正答率が全国平均・府平均より低く、無解答率が高い。漢字の定着に大きな課題が見られる。

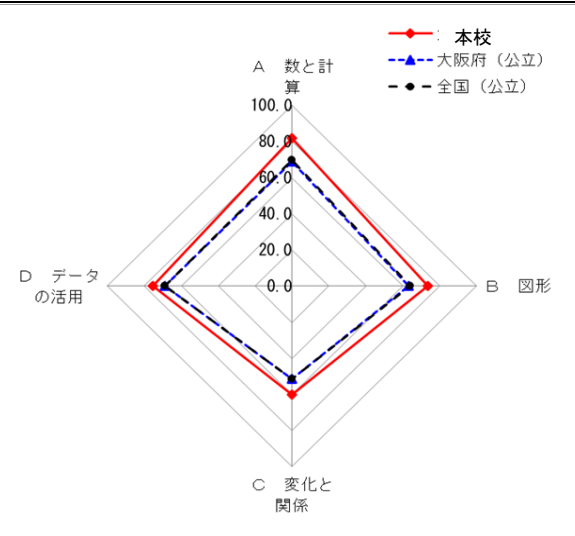
成果

- 一昨年度より校内で取り組んでいる国語科を中心とした授業研究の成果が出ている。

課題解決に向けた取組み

- 既習漢字は普段から使っていく。また、既習漢字の復習に計画的に全学年で取り組む。また、国語辞典を積極的に活用する。

【算数】



全体的な状況

- 全ての領域において力が発揮できている。特に「数と計算」「図形」に関しては全国平均をも大きく超えている。

課題

- 記述問題に関しては、比較的無解答率が高い。

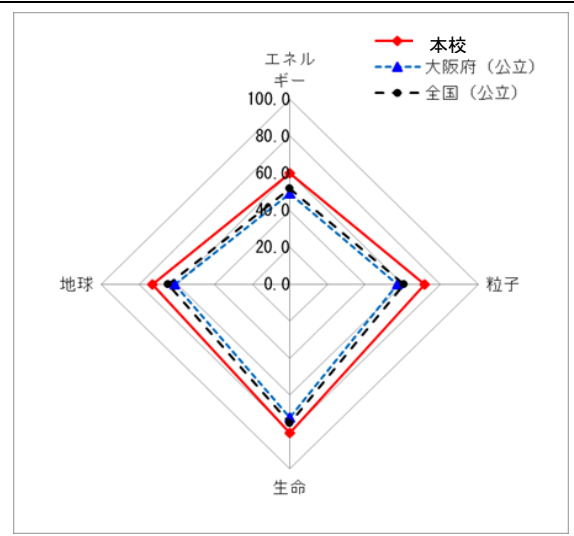
成果

- 少人数指導によるきめ細やかな授業の成果が表れている。タブレットを活用したことや授業で自分の考えを文章にまとめることを大切にすることが結果につながっている。

課題解決に向けた取組み

- 自分の考えを書く際に必要な「自分の考え」「式と答え等を導いた方法の説明」「結論」等の書き方を今後も継続して授業で指導していく。

【理科】



全体的な状況

- 全ての領域において全国平均を上回っている。記述問題に関しても全国平均を大きく超えた正答率を示している。知識・技能に関する問題も正答率が高い。

課題

- 記述問題に関しては、比較的無解答率が高い。

成果

- 実験器具の使い方、動物の観察の仕方、実験結果からの考察については、一定の定着が見られた。授業で実験したことがある内容に関しては知識が定着している。

課題解決に向けた取組み

- 授業内で児童が単元のキーワードを考えたり、まとめの文章を作ったりする作業は、記述式の問題に成果が見られたため、これからも続けていく。

【学習状況調査】

状況が良好な主な項目	本校	府	全国
学校へ行くのは楽しいと思えますか	96	84	85
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	94	70	73
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか	83	71	74

全体的な状況

- 学校に来て、友達と会うことを楽しみにしており、仲間を大切にしている気持ちを持っている。
- 前向きに物事に取り組める児童が多い。また、物事を最後までやり遂げて、達成感を感じている。
- 自分とは違った考え方の人にも寛容で、様々な意見を取り入れて学習活動に取り組むことができている。

成果

- 授業の中で自分の考えを話し合ったり、発表したりすることで、友達の思いを知ろうという気持ちを持つことができている。
- 現在、学習していることが将来役に立つと考えており、積極的に課題に取り組むことができている。
- 仲間を大切にしている学級づくりをすることで、学級での居場所ができ、自己肯定感を育むことができている。

課題を残した主な項目	本校	府	全国
朝食を毎日食べていますか	87	93	94
解答時間は十分でしたか	58	65	66
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	44	47	51

課題

- 基本的な生活習慣が身に付いていない児童がいる。
- テスト形式に慣れていないため、最後の問題まで解答できなかった児童がいる。
- 地域の問題やできごとに関心を持っているが、地域や社会に貢献する方法が分からない。

課題解決に向けた取組み

- 「早寝・早起き・朝ごはん」を学校と家庭の両方から更に推進する。
- 過去問を活用して、テスト形式に慣れさせる。
- キャリア教育を推進し、地域及び社会とのつながりを深める。

○保護者のみなさんへ(全体を通じて)

全国学力・学習状況調査の問題は、ふだんのテストとは大きく異なり、問題の説明文章が多く、それをしっかり理解した上で適切な解答を自分たちで導き出す必要があります。ここには、これからの大きな変動の時代を生きていく子どもたちが、将来大人になったときに必要になるであろう力が、現在どれくらい付いているのか、また、このような力を身に付けた子どもたちに育てほしいというメッセージが込められています。これからの時代を作っていく子どもたちには、自らしっかり考える力、人と考えを交流し深め合う力、そして、新しいことを発見し創り出していく力が大切になってくると考えられます。

子どもたちの学力・学習意欲の向上には、生活リズムを整えることが重要です。例えば「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」ことができている子どもは、正答率が高いという結果が出ています。「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている」児童の割合も高く、今後も、ご家庭でのご指導・ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、6年生個別の結果も、後日(11月頃)に、返却いたします。詳細については、また、個人懇談会にて、担任より一人一人のお子様の状況について、お話をさせていただきます。